



43022-XKBW-K000 SPORTS PAD SET Type SPORTS for HONDA ACCORD WAGON

取扱説明書

当製品をご使用される皆様へ

この度は、無限製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用される前に必ず本文を読み、注意点等十分ご理解の上ご使用下さい。



注 意

- 当製品には、ウェアインジケータ(ブレーキパッド残量警告装置)が装着されておりません。定期的にパッドの残量、その他異常がないか点検して下さい。
万一異常が認められた場合は、大変危険ですのでご使用を中止して下さい。
※残量が2mm以下になったら必ず交換して下さい。
- 摩耗限度を超えたブレーキパッドは本来の制動力を発揮できない恐れがあるばかりでなく、ブレーキローターを傷めたり、事故等を引き起こす可能性があり、きわめて危険ですので絶対に使用しないで下さい。
- 交換直後は、パッドとローターに「馴染み」が出ていないため、一般的に若干制動力が低下します。「馴染み」が出るまでは十分な制動距離を確保して下さい。
- サーキットにおける使用に際し、本来の性能を発揮するためには、パッド装着後十分な制動距離を確保した上で、数回のハードブレーキングを行い、パッドの焼き入れ(パッド内部のガス抜き)をしてください。
- 当製品は、一般的なノーマルパッドとは異なり、制動性能重視のため、ブレーキノイズ・ダスト・摩耗の性能に関して劣る場合があります。
- ブレーキパッドは重要保安部品です。交換作業は認証工場で行って下さい。

ご不明な点がございましたら下記までご連絡下さい。

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

株式会社 M-T E C 商品事業部 商品課 国内営業ブロック

【営業時間 9:00~18:00】

TEL. 048-462-3141 FAX. 048-462-3121

当製品の特長

- 純正品に対しローターやパッドの表面温度が上昇した時でも、制動力が安定しています。
- 純正品と比較して、ローターへの攻撃性が若干高い為、ローターの摩耗にご注意ください。
- ストリート走行時、多少キーキー音が出ることがあります。
- パッド摩耗粉が多いため、ホイールの掃除をこまめに行ってください。



43022-XKBW-K000 SPORTS PAD SET Type SPORTS for HONDA ACCORD WAGON

取 付 説 明 書

当製品の組込み作業を行う皆様へ

この度は、無限製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
取り付け前には、本書をよく読みご理解の上、正しくお取り付け下さい。
取り付け後は、本書と取扱説明書を必ずお客様にお渡し下さい。

ご 注 意

1. 開梱後は、ただちに部品類の不足や破損のない事を確認して下さい。
2. 取り付け前に型式の確認を行って下さい。当製品は、各車種ごとに専用設計をしていますので、適応車種以外への取り付けは行わないで下さい。

〔適応車種〕 ACCORD WAGON LA-CM2

3. ブレーキパッドは重要保安部品です。交換作業は陸運局認定の整備工場で行って下さい。交換に伴う不具合により生じた事故等につきましては、当社は一切責任を負いかねますのでご了承下さい。
4. 純正パーツの取り付け・取り外しは、サービスマニュアルに従って、作業を行って下さい。

ご不明な点がございましたら下記までご連絡下さい。

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

株式会社 M-T E C 商品事業部 商品課 国内営業ブロック
【営業時間 9:00~18:00】

TEL. 048-462-3141 FAX. 048-462-3121



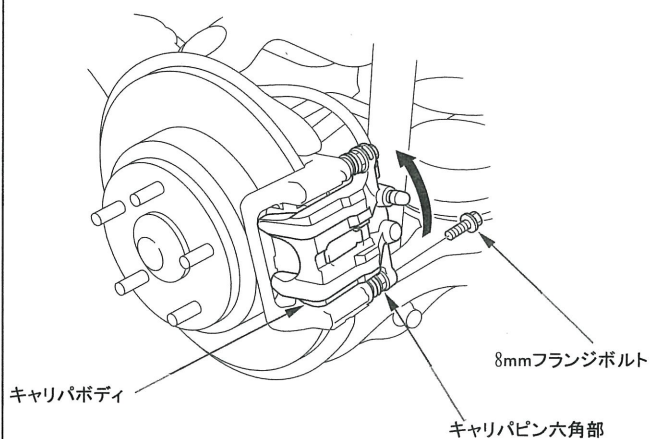
警 告

- 走行直後に交換作業を行うと、ローターやパッドが非常に高温になっており大変危険です。交換作業は必ず十分冷えてから行って下さい。
- パッドの摩擦材にはあらゆるファイバー（繊維質）が含まれており、これらの粒子が手に刺さる恐れがあります。交換作業の際は、必ず軍手等の手袋をご使用下さい。
また、パッドからの研磨粉・摩耗粉の飛散により、体内への侵入が考えられますので、十分な注意が必要です。
- パッドの装着に際しては、サービスマニュアルに従ってディスクローターに異常摩耗、段減り、クラック、振れ等がないかを十分点検して下さい。

リヤブレーキパッドの交換

注意 ・ブレーキ ディスクとパッドの摺動面に油脂類を付着させないこと。

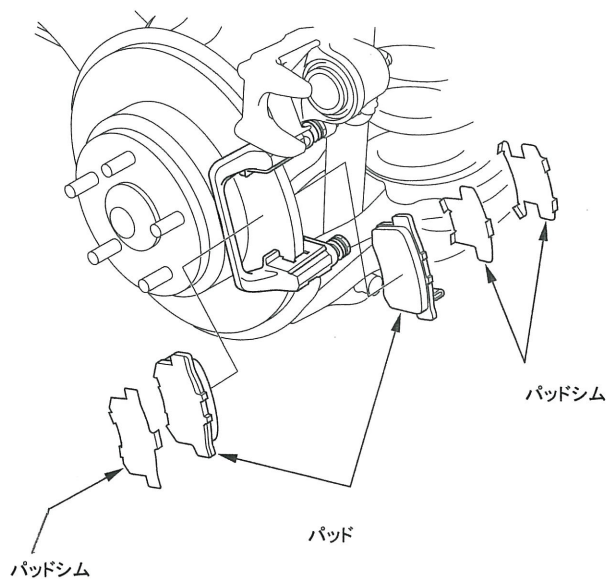
- ① キャリパピン六角部をレンチで保持して下側の8mmフランジボルトを外し、キャリパボディを持ち上げる。



- ② キャリパボディを針金等で固定する。

注意 ・ブレーキホースでキャリパを吊り下げないこと。また、ブレーキホースをブラケット及び周辺部で損傷させないこと。

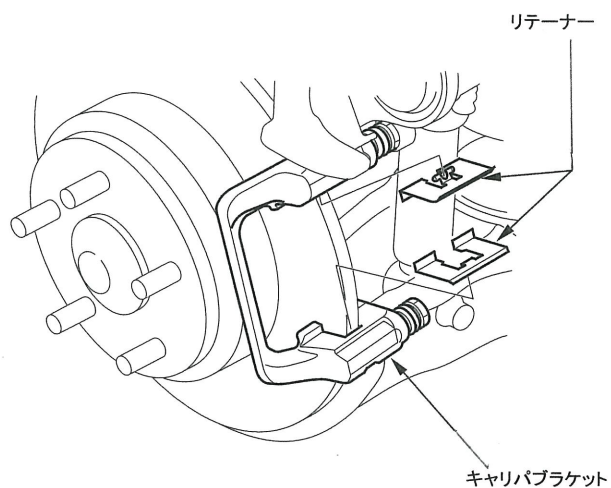
- ③ キャリパブラケットからパッドとパッドシムを取り外す。



- ④ リテーナを取り外し、清掃する。

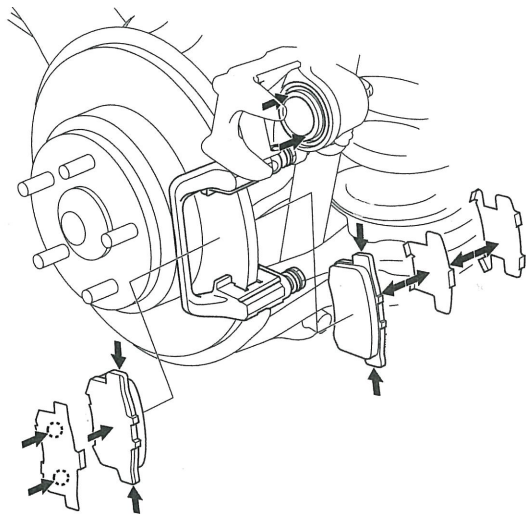
- ⑤ キャリパブラケットを清掃する。

- ⑥ リテーナーを取り付ける。



⑦下図の矢印で示した箇所にモリコートM77グリスを塗布する。

- 注意**
- ・シム装着時、パッドとシムからグリスがはみ出さないようにすること。
 - ・ブレーキディスクとパッドの摺動面に油脂類を付着させないこと。

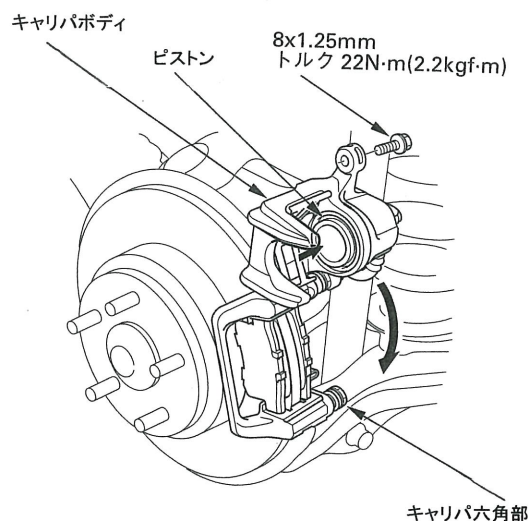


⑧パッドにシムを取り付けてキャリパブラケットに取り付ける。

⑨キャリパボディを清掃し、ピストンを静かに押し込む。

- 注意**
- ・ピストンを押し込むと、マスタシリンダのリザーブタンクからフルードがあふれる場合がある。フルードの量を確認しながらピストンを押し込むこと。

⑩キャリパボディを元の位置に戻し、キャリパピン六角部をレンチで固定してフランジボルトで締め付ける。



⑪ブレーキ ペダルを数回踏んで、ピストンを押し出す。

- 注意**
- ・ピストンが戻されたまま走行しないこと。ピストンの戻りが大きいと、最初にペダルを踏んだ時にブレーキが効かないことがある。

⑫マスタ シリンダ リザーバタンクのブレーキフルード量を点検する。

⑬取り付け後、ブレーキ ホースのねじれ、他部品との干渉や液漏れがないか点検する。